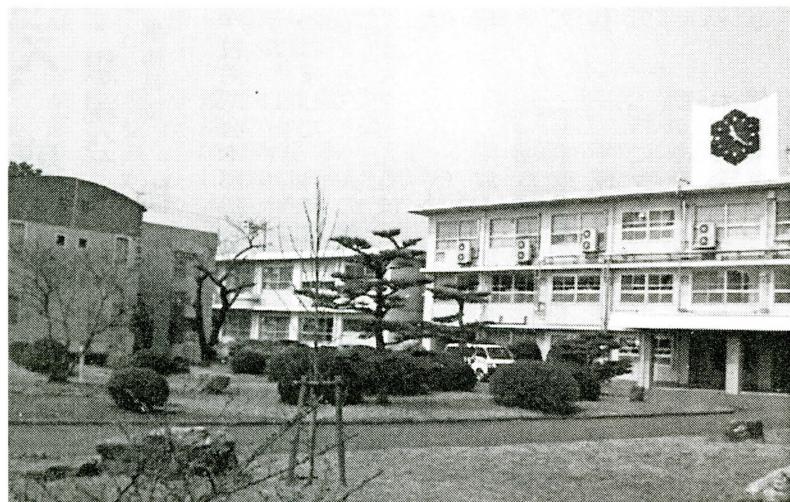


同窓会だより

編集発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局
(〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1・TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651)

卒業生総数：
27,829人

本巣中学： 2,571人
 本巣高女： 2,592人
 高校(本巣校舎)： 22,461人
 高校(岐阜校舎)： 205人



「岐阜県立本 巣松陽高等学 校」の金文字

「岐阜県立本巣松陽高等学校」の金文字
が赤き門柱に

平成十八年度常任理事会におきまして会長の若原忠義様から、正副会长の退任が披瀝され、糺元曲折の中、浅学非才を顧みず会長という大役をお受けする事態となりました。

いては、臨時の常任理事会を開催し、新生「本巣松陽高等学校同窓会会則」を成案し、「岐陽高同窓会」との調整を始めたところであります。

今後、妙案定まり「岐陽高同窓会」の会員諸氏との交流を深め、歴史を共有する母校として「本巣松陽高校」の隆盛に寄与できる「同窓会」として皆様のさらなるご支援をご尽力をおたのみ申し上げ、ご挨拶といたしま

母校の教壇に十九年間にわたりてお世話になつたご恩を思えば、その片鱗もお返しできなかつたことに赤面し、今更ながら恥じ入ることあります。『慚愧なき者は人に非ず』といふ厳しい言葉もありますが、母校だからと、甘えさせて頂いた日々を爪の垢ほどでも反省し、職責を遂行させていただくことができれば有り難いことと思つております。

栄えある同窓生諸氏の母校を愛する慈愛の眼にも包まれ、栄光の「本巣松陽高等学校同窓会」の厚き親睦の輪を広め、母校のさらなる隆盛と共にご尽力賜ることができますれば幸甚であります。

肃々として挙行された平成十八年度卒業式に臨席し、伝統校に相応しい「品のある現役生」を目の当たりにし、馥郁として育まれた校風が今に息吹く素晴らしさを誇りに感じたことあります。

学校統合によつて派生した「岐陽高等学校同窓会」との組織改編につ

顧問	名譽會長	副會長	會長	常任理事	監事	各支部長	名古屋支部	關東支部	關西支部
同窓會新本部役員	翠若原忠義	健三校長	洋晃	茂雄	修	正明	(昭十二卒)	(昭十七卒)	(昭二十三卒)
	川瀬中島	井上	(昭三十六卒)	(昭二十四卒)	(昭四十五卒)	(昭三十四卒)			
	村木	汲田	(昭三五卒)	(昭三十一卒)	(昭三十一卒)	(昭三三卒)			
	鶴見	後藤	(昭三三卒)	信義	(昭四十卒)	(昭四十卒)			
	栗野	浅井	(昭三三卒)	正紀	(昭三十一卒)	(昭三十一卒)			
	守屋	河瀨	(昭三三卒)	秀眼	(昭五十卒)	(昭五十卒)			
	高木	長屋	(昭五十卒)	昇一	(昭五十一卒)	(昭五十一卒)			
		和子	(昭五十一卒)	幸治	(昭五十一卒)	(昭五十一卒)			
			(昭五十一卒)	憲彰	(昭五十一卒)	(昭五十一卒)			
				保	(昭五十一卒)	(昭五十一卒)			
				(昭三五卒)	(昭三五卒)	(昭三五卒)			

年々出席者も増え、盛大に

本部総会・懇親会

事務局長 松尾 寛美



広々としたホールで総会が

平成十八年度本巣松陽高等学校同窓会本部総会および懇親会が長良川湖畔の「岐阜グランドホテル」ロイヤルホールにおいて八月二日（土）午前十一時から行われました。今年度は、昭和五十一年卒業の同窓生を当番幹事として、百六十一人の参加を得て盛大に行われました。大学生の参加も二十人を超えるほどになり、この会の雰囲気も随分若返つてきました。

総会は、浅井幸治氏（昭和五十年卒）の司会進行で、若原忠義同窓会会长、川瀬健三校長の挨拶に続いて、遠山信義氏（昭和四十年卒）を議長に選出し、次の議案を審議しました。

- 一、平成十七年度事業・決算報告
- 一、会計監査報告
- 一、平成十八年度本部役員案

特に今年度は本部役員に大幅な異動がありました。原案通り承認され、中島洋晃新会長のもと、新たな体制で臨むことになりました。

議事終了後、永年本部役員として会の運営等に携わってこられ、この度辞意を表明された方々で、本日ご出席の前会長若原忠義氏（昭和十五年卒）前副会長菅原智子氏（昭和十六年卒）と山田美代子氏（昭和二十五年卒）に、新会長となられた中島洋晃氏から感謝状が贈呈されました。また、喜寿を迎えた昭和十二年卒（二部二十一年卒も含む）の方々十八名に、それぞれ記念品が授与されました。これも、当該学年理事である杉原三男氏の働きかけで、例年よりも多くの方にご出席いただきましたことを感謝いたします。

今後の本部総会及び懇親会を盛り上げていくためには、今年度のように学生にも働きかけ、若年層の参加も増やしていくと考えています。また、事務局も昨年度から、卒業式の前日に同窓会入会式を行い、新たに本校を巣立つ卒業生に同窓生としての意識を持つてもらうようにしました。同窓会役員臨席のもと、会長より学年理事代表に委嘱状を授与していただきました。

各学年の理事の方々も一人でも多くの方に呼びかけていただき、積極的に同窓会・懇親会への参加をお願いいたします。なお、各学年やクラスで同窓会を行おうと考えておられる学年理事の方にお願いしたいことは、右の懇親会に合わせて計画していただけると非常に有り難く思います。その折は同窓会事務局までご一報ください。

今回は常任理事である遠山信義氏が同期の方に声を掛けていただき、十人ほどのグループとして参加していました。こうした小グループの輪を広めていきたいと考えていますのでよろしくお願ひいたします。

当番学年は恩師の三名（澤村寛、村瀬辰美、河村英雄）の先生をお招きし、三十年前に遡り高校時代の思い出話に花を咲かせていました。余興は当番学年の知人による手品やビンゴゲームが行われ、場を盛り上げていました。とても華やいだ雰囲気で、あつという間の二時間でした。



当番学年幹事の皆さん

平成十九年度本部総会および懇親会
は八月十一日（土）に行いますのでぜひ参加を！！

総会 十一時～ 懇親会 十二時～
会場 岐阜グランドホテル
岐阜市長良六四八

*当番幹事は昭和五十二年三月
卒の方々です。

(3) 平成19年3月31日

関東支部だより

支部長 守屋 保

平成十八年度支部総会は四月十六日（日）、東京「アルカディア市ヶ谷」で開催いたしました。本部から新任の川瀬健三校長先生、若原会長、松尾事務局長のお三方をお迎えし、会員八十一名の参加をえて総勢八十名で盛大に行いました。最年長の参加者は、昭和十六年卒の高橋秀道さんで、最年少は本巣松陽高校初の卒業生・平成十七年卒の川島 錦見、畠中、村瀬の四君でした。

総会では来賓祝辞について、生方副会長から事業および会計報告が行されました。その後、同窓生で元陸自高射学校長の正村千秋氏（三十二年卒）が「日本のミサイル防衛」のテーマで特別講演されました。氏は現役時代に蓄積された識見に基づきミサイル防衛の基本原理 現防衛態勢、日本の地理的環境などからその重要性、かつ難しさを説明されました。最後に「脅威とは能力×意志」とし、我が国周辺の軍事的脅威を強調されました。

懇親会は、山田幸雄氏（三十二年卒）と閔谷茂樹氏（三十五年卒）ら七氏の乾杯の音頭で開始、初参加者の紹介、大野清一氏（三十二年卒）のギター演奏でムードを盛り上げました。恒例の「お楽しみ・ふる里農産物ビンゴ」は、ふる里の特產品

「富有柿」をはじめ、昔懐かしい「まくわうり」「十六さしげ」などを目に浮かべ、ふる里を偲びました。最後は校歌を国井氏のリーダーで締めくくり、再会を誓い散会しました。

* * *

名古屋支部だより

支部長 高木 昇一

平成十八年度支部総会は六月十日（土）ナゴヤキャッスルホテルで開催、本部より若原会長、川瀬校長、加納教頭をお迎えして、会員二十余名の参加をえて開催しました。本年度は特に本巣松陽高校の発足に伴い若原会長から本部同窓会の状況、川瀬校長からは合併後の本校の統合の現況などについて挨拶を兼ねて説明がありました。

総会は（一）会務報告、（二）役員の改選、（三）講話「環境破壊について」（箕浦晃昭和三十二年卒）等議事次第によって進められ、懇親会のち十四時に次会の再会を約して散会しました。

今総会では役員の改選が行われ、新支部長高木昇一（二十七年卒）、副支部長林貞夫（三十二年卒）、同窓会監事一名を選出しました。前支部長栗本和幸氏（二十年卒）に謝意を表すと共に役員一同は今後の名古屋支部の活動に努め、母校と同窓会の発展に寄与してまいる所存であります。特に名古屋支部は関東、関西の両支部と違い母校が比較的近いため、コンシャスネス及びフィジカルなディスタンスから見ても望郷感的な感覚が少なくこのことが総会への出席が少ない原因にもなっています。この対策を検討し、新たな方策を打ち出していく方針であります。



杉原酒造株式会社
(平成六年卒)

挨拶をする高木昇一新支部長

高木昇一新支部長の挨拶

高校受験のため、大学受験のため、資格を取るため・・・私達は常に目的（目標）を持つ勉学（活動）に励んでいます。その目的を隨時持ち続けることが、人としての本質であり、成長に繋がるのだと思います。私は大学卒業後、青年海外協力隊に参加し、約三年間ミクロネシア連邦で活動しました。当初の目的は「地域住民との交流」でしたが、活動を進めていくと「自分の存在価値を探しながら、地域の人のために必要な活動をする自分」がいました。教えることよりも、教えられることが多い日々でしたが、その体験は貴重で今の私の基盤になっています。現在、実家の造り酒屋を継いで五年が経ちました。実家の蔵は古い上、仕事は厳しいため、学生時代はそんな仕事が好きではありませんでした。しかし、学生時代に培われた日本への思いと青年海外協力隊に行つたことで、日本酒造りがどんなに大変であつても、この日本酒製造を行つたことで、日本酒造りがどんなに大変であつても、この日本酒製造を行つたことは、自分の使命であり、貴重な仕事なのだと気がつきました。

今後も岐阜という貴重な財産を、皆さんと共に後世に残していく努力してまいります。



本巣松陽高校初の卒業生も参加

会員の皆様からの寄付**総額 四十九万三千円**

同窓会の運営資金や来るべき創立記念行事に向けた基金とさせていただくため、今年度から寄付をお願いいたしました。これまでにお寄せいただいたのは次の方々です、誠にありがとうございました。

堀 鶩	杉 広	松 幸	福 田	高 橋	名 和	高 橋	岩 崎	安 藤	栗 本	山 田	横 幕	守 屋	長 屋	高 木	大 野	山 田	西 川	若 原	大 西	津 屋	野 村	栗 本	鷺 見	高 木	大 野	貞 子	(昭 十 三 卒)				
見 原	木 澄	原 広	木 澄	和 美	和 美	木 澄	木 澄	木 澄	木 澄	木 澄	木 澄	木 澄	木 澄	木 澄	三 郎	文 子	忠 義	美 代 子	照 子	梅 子	和 幸	恒 夫	正 衛	保 天	幸 雄	富 次	俊 夫	信 雄	泰 幸	和 幸	(昭 十 五 卒)
(昭 二十三卒)																															

岐阜県立本巣松陽高等学校
同窓会事務局
郵便振込口座番号
00860-9-56311
(敬称略)

井上 三男
村木 茂雄
山田 美代子
高木 昇一
高坂 英夫
戸部 悠紀子
汲田 弘行
佐藤 熊崎
平工 良子
佐藤 和子
昇一 (昭二十四卒)
(昭二十五卒)
(昭三十四卒)
(昭三十五卒)
(昭三十六卒)
(昭三十七卒)
(昭三十八卒)
(昭三十九卒)
(昭四十卒)
(昭四十一卒)
(昭四十二卒)
(昭四十三卒)
(昭四十四卒)
(昭四十五卒)
(昭四十六卒)
(昭四十七卒)
(昭四十八卒)
(昭四十九卒)
(昭五十卒)
(昭五十一卒)
(昭五十二卒)
(昭五十三卒)
(昭五十四卒)
(昭五十五卒)
(昭五十六卒)
(昭五十七卒)
(昭五十八卒)
(昭五十九卒)
(昭六十卒)
(昭六十一卒)
(昭六十二卒)
(昭六十三卒)
(昭六十四卒)
(昭六十五卒)
(昭六十六卒)
(昭六十七卒)

平成十八年度

部活動等の成果**女子バレーボール部**

ベスト8

県高校総体

第3位

春の高校バレー県予選

第3位

新人大会地区予選

第3位

岐阜地区総体

第3位

岐阜女子大学全国書道展

第3位

中京大学全国学生書道展

第3位

岐阜地区高校美術展

第3位

岐阜地区総体(団体女子)

第3位

岐阜地区高校美術展

第3位

羽島市美術展

第3位

彫刻工芸部門

第3位

デザイン部門

第3位

演劇部

第3位

岐阜北地区秋季合同公演

第3位

全国高校総合文化祭

第3位

中部日本吹奏楽コンクール県大会

第3位

アンサンブルコンクール地区大会

第3位

金賞

金賞

柔道部
・新人大会地区予選 (66kg級)
第3位 吉村 拓也

書道部
・県美術展 優秀賞 野々村真希
入選 中山真菜

文化系
・岐阜地区総体 理事長賞 石澤麻衣

柔道部
・岐阜地区総体 学長賞 野々村真希

書道部
・岐阜地区総体 優秀賞 野々村真希

関西支部三年振りに開催!

関西支部同窓会総会及び懇親会が次のように開催されます。

日時 平成十九年四月八日(日)

十一時から(受付十一時半)

場所 日本料理「河久」

(大阪駅前第三ビル 33階)

関西に在住の同窓生の方は是非

参加して、久闊を叙しましよう。

[問い合わせ先]

栗野憲彰 関西副支部長まで

(○六一六六七三一五〇五一

金一産業株)

吹奏楽部**演奏部****筝曲部****演劇部****美術部****書道部****柔道部**